

サポート

NO. 137号

平成29年1月26日発行

県教育庁特別支援教育課 指導班

平成28年度 特別支援教育に関する実践研究充実事業

秋田県では、平成27年度から2年間継続して「特別支援教育に関する実践研究充実事業」に取り組んでいます。これまで推進校3校（能代支援学校、天王みどり学園、横手支援学校）の研究を軸として各校の研究主任、教務主任が連携して教育課程の編成と、授業改善に向けた取組を行ってきました。また、研究推進校を中心として各地区の研究部・教務部が教育課程に関する協議会を定期的を開催する等、地区全体において情報を共有しながら進めてきました。

目的

障害の重度・重複化、多様化が進んでいる特別支援学校児童生徒に応じ、自校の特色を活かした教育課程の編成や授業改善の実践研究を行う。

研究推進校

連携・情報共有

特別支援学校全体

11月、12月には推進校3校、それぞれの公開研究会が実施され、研究の成果を全県に発信し、取組の要点について共有することができました。各校の公開研究会の様子を紹介します。

横手支援学校 11月22日（火）

「ライフキャリアの視点を大切にした教育課程の編成
～地域資源を活用した授業づくりを通して～」

「ライフキャリアの視点」（役割に気付く、自分らしさの発揮、自己実現を果たす）を重視し、地域資源を活用した教育課程を編成し、授業実践を積み重ねました。



【小学部分科会】

天王みどり学園 12月2日(金)

「キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成
～学部間をつなぐ仕組みを活かした取組～」

「キャリア教育全体計画」を基に、隣接する学部間の繋がりを意識した研究組織(ワーキンググループ、プロジェクトチーム)において、年間指導計画(指導目標・内容・方法)を検討し、連続性を図りました。



【中学部提示授業】

能代支援学校 12月7日(水)

「主体的な社会参加につながる教育課程編成の在り方
～日々の授業と地域と関わる学習との関連を探る
仕組みづくり～」



【高等部提示授業】

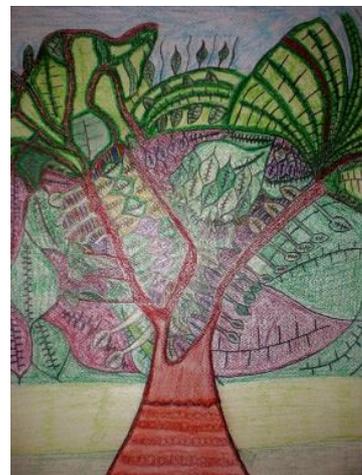
教育目標の「拓く」から始まる「学校の運営方針」→「学部の主な取組」→「共有シート」→「年間指導計画」→「前期評価と後期計画」の評価・改善の仕組みを明確にし、授業づくり(主に長期単元)の評価・改善に活かしました。

各校とも2年間の研究で得た成果を次年度からの教育課程編成に活かし、今後ともよりよい授業づくりを実践していきます。

おめでとうございます

平成29年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
特選『文部科学大臣賞』受賞

公益社団法人国土緑化推進機構主催の「平成29年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」において、栗田支援学校高等部2年の熊谷颯太さんが「特選 文部科学大臣賞」を受賞しました。おめでとうございます。



【熊谷颯太さんの作品】